

のなぐ

病院と地域を
つなげる広報誌



院長メッセージ Message

当センターは地域の基幹病院として、小児の幅広い疾患に対応しています。なかでも、生まれつき心臓の病気をもつ赤ちゃんに対しては、総合的で専門的な医療体制を整えています。今回の特集は、新生児期から成人期までカバーする、全国でも数少ない先天性心疾患の治療体制についてご紹介しています。ぜひ一読ください。

SPECIAL REPORT

中日新聞「リンクト」
LINKED
plus+
病院を
知ろう

**先天性心疾患の治療に
総合力で立ち向かう。**
小児心臓外科・小児循環器内科特集

CONTENTS

- 1 私たちの「治療」
- 2 私たちの「検査・診断」
- 3 ここから一步!
- 4 地域医療事情
- 5 NEWS&TOPICS

SPECIAL REPORT

先天性心疾患の治療に 総合力で立ち向かう。

小児心臓外科・小児循環器内科特集

心臓の病気をもつ赤ちゃんが無事に生まれ、
大人になるまで伴走していく使命。

CHAPTER 01 出産前から情報共有し、小さな 命を救うために全力を注ぐ。

ある日、岐阜県総合医療センターの小児心臓外科を訪ねると、手術を終えたばかりの岩田祐輔医師（小児心臓外科主任部長・成人先天性心疾患診療科部長）の姿があった。「手術はうまくいきましたよ」。岩田は待ちわびていた家族のもとに駆け寄り、喜びを分かち合った。

この患者は、生後3カ月の男児。胎児の成長過程で、先天性心疾患（生まれつき心臓の構造に異常のある病気）が見つかり、同センターの産科・胎児診療科に紹介。出産することが決まると、すぐに産科・胎児診療科、新生児内科に加え、小児循環器内科、小児心臓外科の医師も情報共有し、治療方針について話し合い、万全の準備をして手術の日を迎えたのだ。「先天性心疾患をもつ赤ちゃんは約100人に1人の割合で生まれてきて、専門治療を行わないと20〜30%は新生児期に、50%は乳児期に死亡するといわれています。でも今は昔と違って、妊娠中の検査で異常が見つかるようになりました。それだけ周到に準備でき、救命率も上がっています」（岩田）。また、生後数カ月の心臓の手術には、大人の心臓とは違う技術が要求される。「小児用」に開発された特別な人工心肺装置を用いる極めて専門性の高い手術ですし、術後管理にも細心の注意が要求されます。ですから、一

人の医師の力というよりも、麻酔科や小児循環器内科、臨床工学技士、看護師など小児心臓グループ全体の力、そして、産科・胎児診療科や新生児内科との連携を含めた総合力で立ち向かいます」と岩田は話す。

近年は、手術ではなく、体に負担の少ないカテーテル治療という選択肢も生まれている。桑原直樹医師（小児循環器内科部長・小児集中治療室主任医長）に話を聞いた。「小児循環器のカテーテル治療は、技術の進化により広がっています。心臓の穴を塞ぐ治療や肺動脈弁の治療も、条件次第でカテーテルで対応可能です。患者さんの症状に合わせて、手術かカテーテル治療か、また両方を組み合わせるのがいいのか。小児心臓外科医である岩田先生たちと綿密に検討し、ご家族に丁寧に説明して納得していただくよう心がけています」。

C O L U M N

●先天性心疾患のカテーテル治療は、血管・心臓内にカテーテルという細い管を通して行う治療法。同センターでは2008年に心房中隔欠損への治療を開始し、動脈管開存症などへ治療の幅を広げてきた。

●カテーテル治療のメリットは体への負担が少なく、入院期間も短縮できること。同センターでは、小児循環器内科と小児心臓外科が入念に打ち合わせした上で、カテーテル治療の安全な適用に努めている。



岐阜県唯一の施設という 役割を果たしていく。

先天性心疾患の治療は乳幼児期に終わると思われがちだが、実は違う。必然的に、その後もずっとフォローしていかなければならない理由がある。「乳幼児期に手術で挿入した人工物は、成長とともにサイズが合わなくなったり、劣化していくので、いずれは修復手術をしなくてはなりません。また、成長過程で心臓のほかにも、肺や肝臓などにさまざまな病気を発症して、内科的治療が必要になることもあります。ですから、常にメンテナンスして、どこか悪いところが出てくれば速やかに対応していかないといいけないのです」と岩田は説明する。そのため同センターでは、全国に先駆けて「成人先天性心疾患診療科」を開設し、成人期を迎えた患者のフォローに力を注いでいる。患者とのつきあいは一生涯。岩田は赴任して15年目だが、最初の頃に診た患者はすでに15歳になり、ときどき通院して元気な

姿を見せてくれるという。このように一人の患者を手術や内科的治療を用いて、生涯にわたって支えていくため、同センターの小児循環器内科と小児心臓外科の関係は極めて近い。「内科と外科は同じフロアで、一つの診療科のように仕事しています。一般に内科から外科へ移ると、診療スタイルもスタッフもがらっと変わりますが、当センターでは転科しても内科と外科の医師が一緒に診ていくので、ご本人にもご家族にも安心して治療を受けていただけたらと思います」と桑原は言う。周囲を見渡せば、同センターのように、複数の診療科が連携して、しかも新生児期から成人までを対象として、先天性心疾患を診ていく体制の整った施設は全国でも数少ない。無論、岐阜県では唯一無二の存在だ。「私たちは皆、先天性心疾患に立ち向かう類まれな施設であるという使命感をもっています。今後チーム医療の質をさらに高めて、総合力を結集し、一人でも多くの患者さんの命を救い、守っていきます」と、桑原は締めくくった。

BACKSTAGE

先人が築いてきた希少な医療体制を継承する重要性。

●岐阜県総合医療センターでの先天性心疾患の治療は1997年にスタート。まずは小児心臓外科を開設し、翌年、小児循環器内科を新設。さらに2011年、成人先天性心疾患診療科を開設した。
●このように新生児期から成人期までカバーする総合的な体制は、全国でも数少ない。少ないからこそ、その存在は極めて貴重であり重要だ。先天性心疾患を救う砦ともいえる医療体制を今後もしっかりと守り、育てていかなばならない。



「治療」

今回のテーマ

成人先天性心疾患 (ACHD)

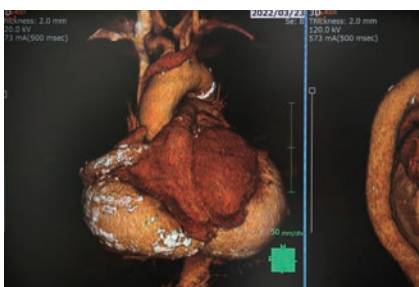


生まれつき心臓病を抱えて成人になった患者さんのさまざまな症状に対応しています。

01 国内に先駆けて 総合的な治療を行う 専門の診療科を開設。

生まれてくる赤ちゃんの100人に1人は、先天性心疾患を抱えています。先天性心疾患をもつ赤ちゃんのなかで40%の人には手術が必要になり、手術を受けた人の90%以上が成人期を迎え、さらに、そのうちの約20%の人には何らかの手術が必要になります。このように先天性心疾患を抱えて成人を迎えた場合のことを、成人先天性心疾患といいます。また、大人になって初めて先天性心疾患を指摘された患者さんも対象になります。

当センターでは2011年、国内に先駆けて〈成人先天性心疾患診療科〉を開設。小児循環器内科、循環器内科、小児心臓外科、遺伝子診療科などを含めた総合的な医療体制を整え、患者さんの検査や治療にあたっています。



02 医師やコメディカルの チーム医療を大切に、 最適な治療を提供。

成人先天性心疾患の診療内容は、多岐にわたります。年齢に伴い心機能が悪化し、不整脈などが出現したり、ほかの臓器に障害が出ると、内科的治療を行います。また、乳幼児に手術した患者さんの場合、年齢とともに人工物の不具合が出てきます。その場合、修復手術を行ったり、より体に負担の少ないカテーテル治療を行うケースもあります。

このように治療法が多岐に及ぶため、成人先天性心疾患診療科ではチーム医療を重視しています。複数の診療科の医師やコメディカルスタッフが治療方針についてざっくばらんに意見交換をし、多くの目で症状や治療法を見て、気になるポイントを率直に話し合うことで、常に最適な治療を進められるよう努めています。

Message

成人先天性心疾患診療科部長・
小児心臓外科主任部長
岩田祐輔



豊富な経験や知識を活かして
最適な修復手術を行います。

成人先天性心疾患診療科では、当センターで治療を受けた患者さんだけでなく、幼少期に他の医療機関で手術を受けた方も積極的に受け入れています。特に重要なのは、最初に行われた手術の内容を把握することです。なぜなら、先天性心疾患の手術方法は地域や時代、医療機関によって異なる場合があるためです。例えば、「乳児のときにこの病院で手術を受けました」といった患者さんの話から、その時期や地域に適用されていた手術方法を推測し、現在の問題点を考察していきます。

こうした判断には、過去の治療の歴史を理解していることが必要です。そのため、当センターでは経験豊富な医師が若手医師に知識と経験を継承し、全ての患者さんに最適な診断と治療を提供できるよう努めています。



「検査・診断」

今回のテーマ

胎児心エコー

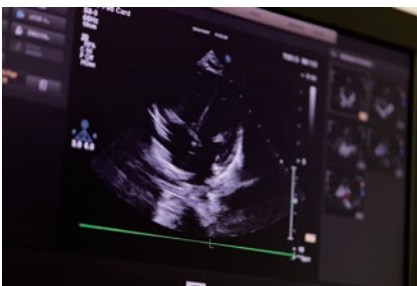


妊娠中に心臓の異常を発見し、
出生後の治療の準備を始めます。

01
お腹の赤ちゃんの
心臓を調べることに
特化した検査です。

胎児心エコーは、妊娠中のお腹に超音波を当てて、胎児の心臓に問題がないかを評価する検査です。

胎児のエコーというと、妊婦健診で行われる検査がなじみ深いと思います。近年、産科で用いられるエコーの画像は飛躍的に進歩し、赤ちゃんの顔の表情や指の1本1本までリアルに確認することができ、お母さんにとって赤ちゃんの成長を実感できるうれしい機会にもなっています。これに対し、小児循環器内科で用いるエコーは心機能の観察に特化しているため、グラフィカルな画像は見られませんが、血液の流れやスピードまで詳しく調べることができます。赤ちゃんに心臓病の疑いがあるかないかを確認し、疑いがある場合にはその種類や重症度を診断します。



02
胎児心エコーの
目覚ましい進化により
心疾患を早期に発見。

昔は、赤ちゃんの心臓病は出生後に初めて見つかるのが一般的でした。しかし、今では多くの場合、胎児の頃から心臓の異常を見つけることができ、重症な先天性心疾患の6~7割は妊娠中に診断できるようになりました。その背景にあるのが、胎児心エコーの技術の進化です。

心臓の大きさは、健康な人でだいたいその人の握りこぶし大。胎児の場合、心臓の大きさはわずか3センチ程度になりますが、近年の胎児心エコーではその小さな心臓の4つの部屋の様子まで細かく観察することができます。ただし、お腹の外から行う検査なので、100%正しく診断できるわけではありません。病気の疑いがある場合、出産後改めて詳しく検査することになります。

Message

小児循環器内科 医長
寺澤厚志



ご家族が安心して
出産の準備ができる
ように支えます。

胎児心エコーで「赤ちゃんが心臓の病気かもしれない」と診断されることは、ご両親にとって非常に辛いことだと思います。その現実を受け入れるには時間がかかるかもしれませんが、私たちはその間も丁寧に説明をし、治療方法についてしっかりお伝えすることを大切にしています。

また、胎児の段階で心臓の異常が見つかった場合、治療する必要のないケースや自然に治癒していくケースもあります。情報が少ないと不安が募りがちですが、その不安を少しでも和らげることが重要です。そして、ご家族が安心して出産に向けた準備を進め、出生後も落ち着いて子育てに取り組めるよう支援することが、胎児診断の重要な役割だと考えています。



未来を見つめて ここから一歩!

対談

臨床工学技士
×
新人看護師

命に直結する仕事。
責任を持ち、医師を
手助けする存在をめざす。

看護師(1年目)
中村彩夏
(なかむら あやか)
石川県白山市出身
金城大学看護学部卒業
看護部



臨床工学技士(3年目)
岡田優人
(おかだ ゆうと)

岐阜県高山市出身
東海医療科学専門学校
臨床工学科卒業
臨床工学部 不整脈部門担当

岡田さんは臨床工学技士として、また、中村さんは看護師として、近況をお教えてください。

中村 私は病棟勤務1年目の看護師で、小児循環器内科や小児心臓外科の患者さんを主に担当しています。

岡田 私は臨床工学技士として、人工呼吸器や人工心肺装置、血液浄化装置などの生命維持装置の操作や、さまざまな検査・治療機器の操作および管理を担当しています。病室・病棟をはじめ、手術室・救命救急センター・人工透析室など、業務の場は多岐にわたっています。これまでの2年間、さまざまな現場で経験を積み学んできました。現在は3年目となり、不整脈部門を担当することになり、心電図に関する高度で複雑な知識の習得に全力を注いでいます。中村さんはどうですか？

中村 小児病棟で勤務しています。元々子どもと関わるのが好きで、自分から希望しました。看護師は、患者さんと関わる時間が長く、患者さんを疾患から見る、家族構成から見るなど、幅広い視点を持つことが必要です。1年目の私には難しいことが多々ありますが、先輩とコミュニケーションを密にし、どう関わっていけば良いかを、毎日考えながら仕事をしています。やさしい先輩が多く、何でも相談できとても助かっています。

先輩看護師と二人で複数の患者さんを受け持つ看護体制ですから、新人の私には心強いですね。



当センターには、臨床工学技士の仕事が幅広くあり、学んだことをフルに活かせる環境があります!



お二人それぞれ、将来の目標をお聞かせください。

岡田 臨床工学技士は、例えばペースメーカーのように、命に直結する医療機器の設定もあり、大きな責任を負う仕事ですが、それだけにやりがいは充分にありますね。

中村 機器の機能や使用方法を、一番知っていないといけない仕事ですね。私の病棟は、循環器系の集中治療を必要とする小児患者さんが多くいますが、薬ひとつで命に関わることもあります。そのためまずは疾患を正確に理解し、今この患者さんには何が必要なのか、薬がないとどうなるのかを考える。そこからご家族がどう考えていらっしゃるのかも考える。そして、お子さんから少しでも離れないように、そのお子さんに愛情を向けられるように努めています。岡田さんの目標は何ですか？

岡田 先輩たちは、医療機器の専門職として、状況に応じ医師に意見を言うことがあります。僕も将来的には、自信を持って自分の意見を伝え、医師の手助けができるようになりたいですね。

中村 その思い、私もわかります。先輩の看護師は、看護の視点から医師に提案できる方が多いです。私はまだまだですが、いつかそんな看護師になっていきたいですね。

岡田 この病院の専門職として、頑張っって歩んで行きましょう!



秋の健康管理③

朝晩の冷え込みに備えて、軽いストレッチで体を温めて。

知っておきたい

地域 医療 事情

今回のテーマ

小児救急医療 拠点病院

岐阜県
総合医療
センター
では

24時間365日、小児の重症患者さんに対応。 地域を支える小児救急拠点病院。

✓ 小児の重症患者さんに迅速かつ適切な医療を提供。

小児救急医療拠点病院は、主に夜間や休日に入院を要する小児の重症患者さんに対して、医療を提供するために指定された病院です。岐阜県には、岐阜県総合医療センターを含む4つの拠点病院が設置され、各地域で小児救急医療の中核を担っています。当センターは、岐阜（瑞穂市を除く）と中濃圏域をカバーし、24時間365日、地域の小児患者さんに対する医療体制を整えています。小児救急医療拠点病院の特徴は、小児科専門医や救急科専門医が24時間体制で常駐していることです。医師や看護師は、緊急性の高い急な病気やけがに対して迅速かつ的確に対応することが求められます。また、緊急時に応じた診療を行うため、トリアージシステムを導入し、より緊急度の高い患者さんを優先して診察します。

✓ 地域全体の医療機関と連携して小児の患者さんをサポート。

このように、小児救急医療拠点病院は、地域の小児医療の要として、緊急時に対応する医療施設であると同時に、地域全体の医療機関と連携して小児の患者さんをサポートする役割を果たしています。また、地域の医療従事者の教育や研修の場としても機能しており、次世代の医療専門家を育成するために重要な役割を担っています。

地域住民にとって、小児救急医療拠点病院は単なる医療施設にとどまらず、子どもたちの健康と安全を守るための重要な拠点となっています。これにより、保護者やご家族も安心して医療を受けることができる環境が整えられ、地域全体で子どもたちの命を守る体制が構築されています。



岐阜県の小児医療を支える砦として、 総合的かつ専門的に対応。

岐阜県総合医療センターでは、小児科をはじめとする多くの専門診療科が連携し、地域の小児救急医療を支えています。小児循環器内科や新生児内科、小児外科、小児心臓外科、小児脳神経外科など、幅広い診療科が揃い、総合的な医療提供が可能です。また、小児集中治療室(PICU)や新生児集中治療室(NICU)などの専門施設を備え、重症患者さんに迅速に対応しています。さらに、岐阜県唯一の総合周産期母子医療センターとして、新生児医療にも力を注ぎ、周産期医療機関と密接に連携しています。また、児童虐待防止医療ネットワー

クの拠点として、児童虐待への対応や教育研修にも積極的に取り組んでいます。地域の医療機関とも緊密に連携し、小児の重症患者さんにも幅広く対応できる体制を整えています。患者さんやご家族には、いつでも安心して受診していただけるよう最善を尽くしていますので、お困りの際は遠慮なく当センターにご相談ください。

小児医療センター長 小児科部長
今村 淳



秋の健康管理④

秋の夜長、質の良い睡眠で心身をリフレッシュ。

岐阜県総合医療センター

健康祭 開催

見て!聞いて!知って学ぼう!

参加費
駐車場

無料

岐阜県総合医療センターでは、毎年11月に一般の皆さんを対象とした健康祭を開催しています。今年は、4つのミニレクチャーに加えて、体験型のお楽しみ企画もご用意していますので、ぜひご参加ください。

2024年11月9日(土) 13:00~16:30

メイン会場 岐阜県総合医療センター 情報交流棟3階

ご来場記念

「クッキー詰め合わせ」
または
「花の苗」をプレゼント!

※数量に限りがございます。なくなり次第、配布を終了いたしますので、あらかじめご了承ください。

話題の医療を
深掘り

ミニレクチャー 場所・時間 情報交流棟3階(大会議室) 13:00~16:00

- 1 放射線診断『初めまして!画像診断医です』……………放射線診断科 水野 希
- 2 災害医療 当院のDMAT活動について-災害医療の現場から-……………臨床工学部 清水 円香
- 3 消化管内視鏡 おなかを切らない胃がん・大腸がんの内視鏡治療……………消化器内視鏡科 山崎 健路
- 4 超音波検査 胎児医療の最前線~おなかの赤ちゃんをどうやって診るの?~……………産科・胎児診療科 岩垣 重紀

相談・測定・体験コーナー

場所・時間 情報交流棟3階(講堂、大会議室)
13:00~16:00

- 測定コーナー ……骨密度測定、体組成計測定
相談コーナー ……栄養・食事相談、お薬相談
体験コーナー ……薬剤師の仕事を体験しよう♪、ロボットリハビリ体験、母乳育児と沐浴体験、超音波で何がみえるかな?、発見!はたらく細胞

知って、測って、
体験しよう!

コンサート

場所・時間 本館1階 エントランス

- 14:00~
和太鼓演奏「和太鼓一擲(けやき)」
15:25~
楽市JAZZ楽団シルバー
コーモラント



お問い合わせ先

TEL 058-246-1111 (内線:5533) 岐阜県総合医療センター健康祭実行委員会(総務課 管理調整担当)

岐阜県総合医療センター WEBマガジン

地域の皆さんや連携機関の皆さんと「岐阜県総合医療センター」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。

つなぐ

こちらから

